

今週（1月17日から1月21日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、週を通して、地銀業態を中心に取り手の調達意欲は旺盛であった。積み期間序盤ではあったが、▲0.03～▲0.01%の小高い出合いが中心となった。無担保コールO/N加重平均レートは、▲0.029%から始まり、徐々に上昇していった。ターム物の出合いは新しい積み期に入ったことから調達希望が強く、1～2Wのショートタームで▲0.015～▲0.01%のレンジで推移した。日銀当座預金残高は、概ね530兆円前半から半ばで推移した。

1月17日～18日に開催された金融政策決定会合では、現状維持が決定された。また、「貸出増加を支援するための資金供給」について、貸付実行期限を1年間延長することが決定された。

●レポ市場

今週のGC T/Nは、▲0.09～▲0.08%出合いと先週比横ばい圏で推移した。週初17日のT/Nは▲0.09～▲0.08%出合いと落ち着いた展開から始まった。18日から21日のT/Nは、短国入札や輪番オペを挟んだものの、両サイドのスタンスに変化は見られず、▲0.09～▲0.08%出合いと狭いレンジで推移した。

SCについては、2y422～432、5y140～150、10y349～365、20y177～178、30y70～72、40y13～14 などカレント銘柄を中心にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、国債金利のボラティリティが上昇する中で中期債利回りが上昇したことが材料視されたほか、短国買入オペの実施が見送られたこともあり、レートはやや軟調に推移した。

19日に実施された1Y物の入札は、軟調な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、入札結果と同水準で推移した。

21日に実施された3M物の入札は、弱めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、入札結果と同水準で推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、複数の発行体からコンスタントに大型入札が実施されたことで発行超の市場となった。大型案件が多く実施されたものの、入札件数はあまり伸びなかった。発行残高は、先週末から徐々に残高を積み上げ、20日時点では26兆円台となった。発行レートは、マイナス圏での出合いが中心であることに変化はなく、発行量の多い事業会社については、浅いマイナスから0%にかけての足切りが散見された。希少な銘柄に対しては、積極的な応札が見受けられた。また、希少な銘柄でも期間が長い場合は、目線がやや上向いている。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
1/17 (月)	28,333.52	0.140	114.47	△ 0.029	△ 0.085	5,325,500
1/18 (火)	28,257.25	0.145	114.54	△ 0.028	△ 0.085	5,355,400
1/19 (水)	27,467.23	0.134	114.70	△ 0.026	△ 0.086	5,363,400
1/20 (木)	27,772.93	0.140	114.28	△ 0.025	△ 0.086	5,336,700
1/21 (金)	27,522.26	0.130	113.83	△ 0.020	△ 0.086	5,353,500

来週（1月24日から1月28日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
1/24 (月)		TB6M 34,500億円 1/25発行			
1/25 (火)		40Y 6,000億円 1/26発行			米FOMC(1日目) 11月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数
1/26 (水)	決定会合における主な意見(1月17・18日分 8:50) 12月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 11月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	交付税借入 11,000億円 2/4借入			米FOMC(2日目) 12月の米新築一戸建て販売件数
1/27 (木)		2Y 30,000億円 2/1発行			10-12月期の米GDP速報値 12月の米耐久財新規受注
1/28 (金)	1月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 50,000億円 1/31発行			12月の米個人所得・消費支出

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
1/24 (月)	600	▲ 2,100	▲ 1,500	CP買入 社債買入	▲ 100 ▲ 200		▲ 300	▲ 1,800	TB3M発行▲50000償還50000 流動性供給▲5000
1/25 (火)	1,000	24,000	25,000	社債買入		800	800	25,800	TB6M発行▲34500償還26900
1/26 (水)	1,000	▲ 4,000	▲ 3,000				0	▲ 3,000	40Y発行▲6000 交付税借入▲11000期日11000
1/27 (木)	0	2,000	2,000				0	2,000	
1/28 (金)	▲ 1,000	8,000	7,000				0	7,000	交付税借入▲11000期日10000
週間合計	1,600	27,900	29,500	—	▲ 300	800	500	30,000	

1/24は日銀予想、1/25以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、特段大きな需給的要因もなく、横ばいもしくは徐々に上昇する展開が予想される。レポ市場は、GC T/Nは、▲0.085～▲0.075%程度と若干の上昇が予想される。短国市場は、24日に6M物、28日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。また、26日に実施が予想される短国買入オペのオフアール額にも注目したい。CP市場は、CP等買入オペが26日に5,000億円でオフアールされる予定となっている。発行レートに関しては、全体的には、引き続き低位での推移が見込まれる。

主要なイベントは、海外では25～26日にFOMC、27日に10～12月期の米GDP速報値が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入